

商船三井の上期経常益2.7倍、コンテナ船改善寄与

Edited By LogisticsToday On 2019/10/31

商船三井が10月31日に発表した9月中間決算は、売上高5743億円（前年同期比7.3%減）、営業利益120億円（18.4%減）、経常利益281億円（2.7倍）、四半期最終損益は256億円（4.4倍）となった。

主要セグメントの業績は、ドライバルク船事業が減収減益、エネルギー輸送事業が増収増益、製品輸送事業が減収増益、関連事業が減収増益。

特にコンテナ船事業を抱える製品輸送事業は、売上高が416億円減の2428億円となった一方、利益は86億円の赤字から153億円改善し、67億円の黒字に転換した。前年同期に100億円の赤字を計上していたコンテナ船事業が56億円の黒字へと156億円改善した効果が大きく寄与した。

通期は売上高1兆1730億円（前期比4.9%減）、営業利益260億円（31.1%減）、経常利益500億円（29.6%増）、最終利益400億円（48.8%増）を見込む。

■決算集計（見出し：年/決算期/四半期、 []：前年同期比、単位：百万円）	20/3/	20/3/119/3/	19/3/3
	中間	Q	通期
	Q		Q
売上高	574,352	83,141	234,942
	220	[-7.7	[-6.077
	3%]	9%]	25.3%]
営業利益	12,045	6,854	37,718
	[-18.3	[85.6%	[66.2%
	%]]]
最終利益	25,636	12,273	26,875
	[347.7	[-]	[-]
	%]		[-31.2
			%]
売上高	2.1%	2.4%	3.1%
営業利益率			3.1%